



「紅葉が進む高志の国 文学館」

- 撮影者：富山県土木部営繕課
- 撮影年月：平成28年10月
- 撮影場所：富山県富山市舟橋南町
- 施工者：日本海建興・三由建設・ミツホ建設JV
- コメント：紅葉が進む庭の木々を文学館の中やレストランから楽しめます。

Contents

事業紹介

佐渡海上保安署の整備	【営繕部 整備課】	2
南万代小学校校舎改築事業	【新潟市 建築部 公共建築第二課】	3

トピックス

平成28年度 北陸地方整備局 優良工事等の表彰(営繕関係)	【営繕部, 金沢営繕事務所】	4
「北陸地方整備局事業研究発表会」について	【営繕部 整備課, 保全指導・監督室】	5
北陸地方整備局見学デー開催	【営繕部 整備課】	6
大学生による営繕業務の就業体験について	【営繕部 計画課】	8

保全便り

平成28年度 北陸地区官庁施設保全連絡会議を開催	【営繕部 保全指導・監督室, 金沢営繕事務所】	9
--------------------------	-------------------------	-------	---

情報ホットライン

公共建築の日及び公共建築月間関連イベント	10
北陸地区営繕主管課長会議	11
公共建築に関する情報発信 情報ホットライン	11

佐渡海上保安署の整備

(営繕部 整備課)

1 経緯

佐渡海上保安署は、海上における法令の励行、海難救助、海洋汚染の防止、犯罪の予防及び鎮圧、捜査及び逮捕、船舶交通に関する規制等の業務を行っています。

現庁舎は昭和37年建築（築54年）で老朽化が著しいことに加え、施設が狭隘になったことにより、災害活動時等に支障を来すおそれがあるため、両津夷地先に移転整備することとなりました。

平成27年から設計を開始し、本年度から工事に着手する予定です。

2 設計における配慮事項

(1) 災害応急対策施設として所要性能を確保し津波避難機能を考慮した施設整備

本施設は災害応急対策施設であるため、地震時にあっても業務を停止することの無いよう、耐震性及び対津波性を考慮した設計としています。

また、津波避難ビルとしての機能を考慮した設計としています。

(2) 周辺環境への調和を配慮した施設整備

本施設は、佐渡汽船のフェリー航路から展望される立地条件となっており、佐渡の玄関口であるランドマークとしてふさわしい景観について考慮した設計としています。

(3) 地球環境に配慮し、環境負荷低減等に貢献できる施設整備

太陽光発電設備・LED照明器具・ヒートポンプパッケージ等を採用しています。

(4) ユニバーサルデザインに配慮した施設整備

高齢者をはじめ、来庁者にわかりやすい動線計画及びサイン計画を行い、庁舎内にエレベーター（13人乗り）を整備します。



佐渡海上保安署完成予想図

■ 計画概要 ■

- 計画地 新潟県佐渡市
両津夷地先
- 敷地面積 880㎡
- 構造・規模 鉄筋コンクリート造
地上3階建
延べ面積 915㎡
(ピロティを含む)

■ 設計 ■

- 設計者 (株) 都市環境設計

多様な学びに対応できる、人と環境にやさしい学校を目指して 南万代小学校校舎改築事業

(新潟市建築部公共建築第二課)

1. 事業概要

南万代小学校の校舎は、築後46年経過しており、老朽化が著しく、耐震性も確保されていないことから、校舎を全面改築し、災害時の避難場所としての機能の改善及び地域に開かれた施設として教育環境の改善を図りました。



南万代小学校外観

2. 事業方針

所在地：新潟県新潟市中央区幸西4丁目

施設名称：南万代小学校

施工者：丸運・加賀田・伸晃 特定共同企業体

敷地面積：13,610.04㎡

延床面積：6,933.06㎡（屋内体育館除く）

建物規模：RC造 一部S造 4階建て

主要室：普通教室（18室）、各特別教室、教務室、保健室、給食室、多目的スペース、屋上プール（25M）他

工期：平成26年7月～平成28年3月



普通教室と多目的スペース(廊下拡張型)

3. 施設の特徴

(1)多様な利用形態に対応

多目的スペース（廊下拡張型）を普通教室と連続した位置に設け、普通教室と一体的利用ができる計画としました。また、特別教室に隣接した位置にも多目的スペースを設け、複合的な学習ができる環境を整えました。

(2)交通騒音に対する配慮

学校正面の市道は将来推計で交通量の増加が見込まれているため、校門付近に交通騒音の反響を防ぐ防音スクリーンを設置するとともに、普通教室を含む全室に冷暖房設備を設置しました。

(3)津波避難ビルとしての機能

南万代小学校は地域の津波避難ビルに指定されているため、屋外階段から屋上へ避難できる構造となっています。また、校内には防災倉庫を設けています。



校門側防音スクリーン



屋上避難用屋外階段

受賞、おめでとうございます

平成28年度 北陸地方整備局 優良工事等の表彰(営繕関係)

(営繕部、金沢営繕事務所)

北陸地方整備局では、所管の工事等に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目指しています。

この中で、事業や業務の内容等を考慮してより広く選定し、優秀な者を部長表彰及び事務所長表彰としています。また、優良工事に選定された工事の下請負者の中から、工事の品質確保や向上に貢献した企業を表彰しています。

今回、平成27年度に完成した工事のうち、優秀なものを営繕部長表彰、金沢営繕事務所長表彰として表彰を行いました。

営繕部長表彰

【優良建設技術者(工事)】

受賞者：大場 美喜

(監理技術者・現場代理人)

工事名：新潟公共職安(14)構内整備外1件工事

会社名：(株)近藤組



営繕部長表彰

金沢営繕事務所長表彰

【優良工事】

受賞者：(株)岡部

工事名：富山県警察機動隊(15)

車輛給油施設新設工事



金沢営繕事務所長表彰

受賞者の喜びの声

このたび北陸地方整備局営繕部より平成28年度優良工事等営繕部長表彰式において新潟公共職安(14)構内整備外1件工事で優良建設技術者(工事)を受賞いたしました。大変うれしく、誉に思います。

当社には私と同じ60歳を超えた技術者が数名おります。これからの仕事に向かい60歳を超えても頑張ればまだ結果がついて来ると励みになると思います。

若い人たちは、毎回プロジェクトに参加、リードするに当たり必ずテーマをもって仕事に臨んでいてもらいたい。結果、あなたともう一度仕事をしたい、もう一度あなたの会社に仕事をたのみたい、といわれたら最高の幸せだと思えるでしょう。建設業は夢のある仕事です。私は、建設業に従事できたことを誇りに思います。

建設業の世界にお世話になり早いもので今年で43年になります。無我夢中で気の強さと好奇心でいろいろなプロジェクトに立ち向かってきた気がします。まだまだ現役を通したいです。

とりあえずあと7年、通算50年を現在の目標です。後は体が動く限り生涯現役を通したいです。そのために週4日仕事後にスポーツセンターで毎2時間体を鍛えます。

受賞者の喜びの声

この度、金沢営繕事務所長表彰を賜りましたことは、これも偏に事務所の皆様方をはじめ関係各位の暖かいご指導の賜物と心から感謝申し上げますとともに、担当技術者のみならず弊社全社員が受賞したものと受け止めております。

施工にあたっては「無事故無災害で良い品質のものをより安く」をめざしています。今回の受賞を励みとして建設技術の向上に努力をする所存です。倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「北陸地方整備局事業研究発表会」について

(営繕部 整備課、保全指導・監督室)

事業研究発表会は、北陸地方整備局の所管行政に係る実務執行、建設技術に関して調査・研究を行った成果を発表することにより、職員等の行政実務の改善、建設技術向上とその普及を図り、国土交通行政の効率的な執行を推進することを目的に、毎年開催されています。今年度は、7月26・27日の2日間開催され、営繕部から2つの論文を発表しましたので、ご紹介します。

なお、「官庁施設におけるユニバーサルデザインの取組と情報発信について」の論文は、優秀賞を受賞しました。

1) 官庁施設におけるユニバーサルデザインの取組と情報発信について

営繕部では、高齢者・障がい者等を含むすべての人が、安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できるユニバーサルデザインを目指し、施設整備を行っています。しかし、実際に施設を利用される方への周知が課題として挙げられ、広く情報を発信していく必要があります。

今回の発表では、ユニバーサルデザインの施設整備を実施した取組を紹介するとともに、情報発信のために実際に取り組んだ、既存庁舎のユニバーサルデザインマップの作成や、その作成したマップをどのように活用して、周知を行ったのか実施例を報告しました。

また、今後の更なる取組として、地震等の災害時や、急遽、施設を利用される方にどのように周知をしていくのか検討したことを報告しました。



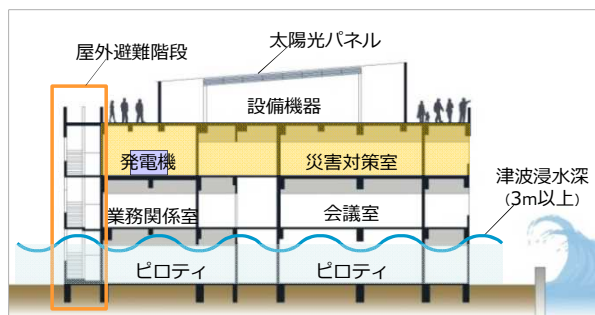
ユニバーサルデザインマップ作成例
(新潟美咲合同庁舎2号館)

2) 佐渡海上保安署における地域連携の取組について

営繕部では庁舎で勤務する職員はもとより住民の方の参画を持って設計段階から検討を重ねることで、職員のみならず来庁者にも満足度の高い庁舎となるよう心がけており、地域を巻き込んだの検討会がなされています。

また、内閣府では津波からの避難が困難な地域における津波避難ビルの普及を促進しています。

小規模ながら佐渡の玄関口である両津地区に立地し、津波避難ビルの指定を目指して整備を進めている佐渡海上保安署における地域連携の取り組みを報告しました。



佐渡海上保安署 津波対策イメージ図

3) 技術研究論文の掲載について

発表論文や表彰論文の講評が、北陸地方整備局のHPに掲載していますので、ご参照ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/library/happyoukai/main.html>

～みて、ふれて、知る北陸地整～

北陸地方整備局見学デー開催

(営繕部 整備課)

～みて、ふれて、知る北陸地整～
まわりのくらしをよりよくする
北陸地方整備局見学デー
地震などの災害時に活動拠点となる
北陸地方整備局の見学ができます！
知っているのと役に立つ知識を学ぼう！

お申し込みだけで、自分たち
施設見学と昼休みの
官舎がでせるかも！

このイベントには、お申し込みだけで
豪雨体験や地震体験
などがでせるよ！

2018年
8/19 金
9:30～15:30
入場無料

アクセス

〒925-8501 富山県富山市西町1丁目1番1号

平成28年8月19日(金)に北陸地方整備局初開催となる「北陸地方整備局見学デー」を開催致しました。

この催しは広く一般の方に北陸地方整備局の業務内容を知り防災意識を向上して頂くと共に、将来の担い手の確保を図り、併せて、職員の家族には、職場への理解を深めてもらう事を目的としています。

当日は天気がよく日差しが照るつける中、親子合わせて約150名を数える参加者がありました。

開催内容は豪雨体験・地震体験・合同庁舎見学・バリアフリー体験・免震装置見学等々で、営繕部の担当は、バリアフリー体験と免震装置見学を開催し、約60名強の方が参加されました。

地震に負けない建物を目指して —官庁施設の耐震化の取組—

耐震化とは

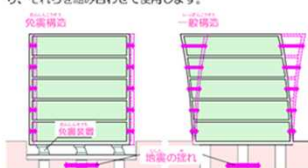
強い地震でも建物が壊れないように補強したり、そのような構造にすることです。

免震装置とは

建物と地盤の間に設置して、建物が地震の揺れを直接伝えないようにするためのものです。

免震装置には、①地震の揺れを伝えにくくし、建物を支える装置、②建物の位置を元に戻す装置、③建物の揺れをおさえる装置、の3つの種類があり、それらを組み合わせて使用します。

新潟県合同庁舎の耐震化のために設置した免震装置について説明します。



▲地震の揺れを伝えにくくする装置【①】



▲建物の位置を元に戻す装置【②】



▲建物の揺れをおさえる装置【③】



▲新潟県合同庁舎1号館

国土交通省北陸地方整備局営繕部



ビデオで免震装置の動き方を説明



地下免震ピットで現物を説明

すべての人が利用しやすい建物を目指して

—官庁施設のユニバーサルデザイン—

ユニバーサルデザインとは

障がいの有無、年齢、性別、言語等にかかわらず多様な人々が利用しやすいように施設や生活環境をデザインすることです。

官庁施設の取組

高齢者、障がい者等を含むすべての利用者が、安全に、安心して、施設を利用できるよう、官庁施設の整備を進めています。

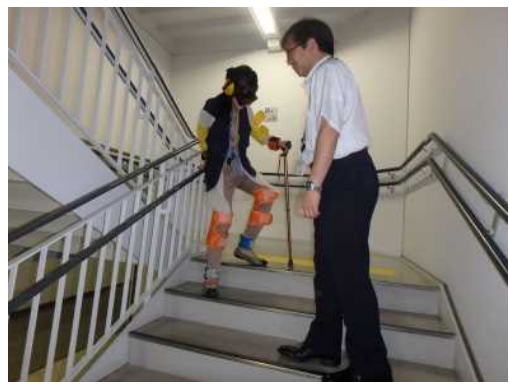
新潟県統合庁舎のユニバーサルデザインについて説明します。



ユニバーサルデザインレビュー

より利用しやすい施設の整備を自励し、利用者の代表や専門家の意見を聞きながら整備を進めていくこと。

国土交通省北陸地方整備局宮越部



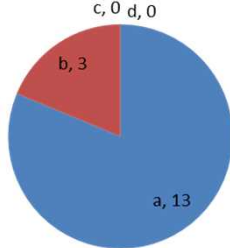
器具を装着して階段で高齢者体験



屋外駐車場で舗装段差体験

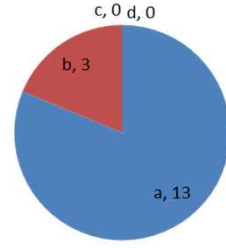
★最後にお父さんお母さんにアンケートをお願いしました。

Q1「官庁施設」を耐震化する必要性を理解できましたか。



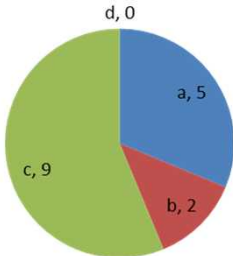
- a. とても理解できた。 13人
- b. ある程度理解できた。 3人
- c. あまり必要性を感じない。 0人
- d. 全く必要性を感じない。 0人

Q2「官庁施設」をバリアフリー化する必要性を理解できましたか。



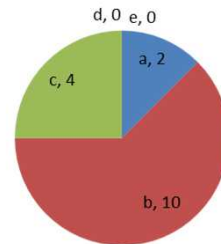
- a. とても理解できた。 13人
- b. ある程度理解できた。 3人
- c. あまり必要性を感じない。 0人
- d. 全く必要性を感じない。 0人

Q3 今回の見学会を通じて「官庁施設」に対して興味・関心が沸きましたか。



- a. もともと興味・関心があり、参加する前よりさらに興味・関心が沸いた。 5人
- b. もともと興味・関心があり、参加する前とあまり変わらない。 2人
- c. 興味・関心はなかったが、参加して興味・関心が沸いた。 9人
- d. 興味・関心はなく、参加してもあまり変わらない。 0人

Q4 今後、今回のような見学会があったら、参加したいと思いますか。



- a. 必ず参加したい。 2人
- b. スケジュールがあれば参加したい。 10人
- c. 内容によっては参加したい。 4人
- d. あまり参加したいと思わない。 0人
- e. 全く参加したいとは思わない。 0人

大学生による営繕業務の就業体験について

～北陸地方整備局営繕部で初の夏季実習生受入れ～

(営繕部 計画課)

北陸地方整備局では、大学等に在籍する技術系（土木、建築、電気、機械等）の学生を対象として、学習意欲を喚起し、高い職業意欲を育成するとともに、国土交通行政に対する理解の増進に資するために、夏季実習制度（インターンシップ）を実施しています。

今年度、営繕部では初めて新潟大学工学部の学生1名を受入れ、8月22日～9月2日までの2週間、営繕部の業務を体験していただきました。

今回は、より実践的な体験をしていただくため、以下の3点の作業課題を設定しました。また、これに加え、営繕業務の概要、災害時の対応などの説明や若手職員との意見交換の場も設けました。

①庁舎のユニバーサルデザインマップの作成

国土交通省営繕部では、障がい者や高齢者をはじめとするすべての人にやさしい施設整備を推進しており、施設内の段差の解消や、多機能便所の設置、点字ブロックの敷設等を行っています。

今回の課題では、外来者の多い新潟税務署が入居する新潟地方合同庁舎におけるユニバーサルデザイン整備状況等を取りまとめたマップを作成し、公開することにしました。

(http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/003_jigyuu/01_jigyuu.html#03)



【新潟地方合同庁舎UDマップの成果品(一部)】

②地震発生時の庁舎入室点検マニュアルの作成

官庁施設は災害時においても、災害応急対策活動を支える拠点施設となります。

災害時には施設管理者と営繕部が連携して、官庁施設の機能確保及び二次災害の防止に向けて対応する必要があります。そのため、国土交通省営繕部では「官庁施設被災情報伝達要領」を定め、各官署から被災情報を収集し、緊急点検や予算要求資料作成等の支援を行っています。

しかしながら、各官署においては建築の専門家がいない状況で被災状況把握のために庁舎に入室できるか否かを判断することは困難です。

そこで今回の課題では、地震発生直後に各官署の施設管理者が最初に確認すべきポイント等についてわかりやすいマニュアルを作成し、公開することにしました。

(<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>)

③地域連携を考慮した庁舎整備計画の作成

営繕部において中長期的な整備構想を持っている事案について、地域との連携を考慮した整備計画案の作成を今回の課題としました。

作成にあたっては、実際に現地調査を行い、市のまちづくり計画との連携方策が検討されるなど、有益な計画案が提案されました。



【庁舎整備計画の成果品(イメージ)】

官庁施設のインフラ長寿命化計画の取組

平成28年度 北陸地区官庁施設保全連絡会議を開催

(営繕部 保全指導・監督室、金沢営繕事務所)

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所は、新潟県、富山県及び石川県において、平成28年度「北陸地区官庁施設保全連絡会議」を開催しました。この会議は、国家機関の建築物の保全業務を担当している施設管理担当者に対して、保全業務の現況と課題等を紹介し、保全業務の参考にしていただくことや意見交換を行うことを目的に、開催しています。

北陸地区官庁施設連絡会議出席状況

開催日	平成28年7月22日	平成28年7月26日	平成28年7月29日
開催地区	新潟県	富山県	石川県
開催会場	新潟美咲合同庁舎1号館	富山地方合同庁舎	金沢駅西合同庁舎
参 国家機関	25 官署 40 名	16 官署 22 名	20 官署 25 名
加 地方自治体	6 機関 9 名	10 機関 17 名	12 機関 21 名
者 独立行政法人	4 機関 5 名	1 機関 1 名	-

[連絡会議の主な内容]

1. 「インフラ長寿命化計画(行動計画)」について

平成26年度において国家機関の建築物の対象としている保全実態調査により把握出来ている北陸地方整備局管内の施設は、330施設、延べ面積約63万㎡となっている。建設後30年を超えている施設が約42%を超えている現況にあり、今後、大規模な修繕や設備機器の更新等が増加し、修繕費用の増加が予想されるため、各省毎に策定している「インフラ長寿命化計画(行動計画)」に基づき、施設の点検・診断、修繕、更新、予算管理等の適切な実施が必要であることについて説明を行いました。

2. 国家機関の建築物の定期点検について

建築基準法の一部が改正され、平成28年6月1日から既に施行されている点検資格者、点検内容及び点検周期等の見直し内容について説明を行いました。

また、会議会場の庁舎を使用して法律に基づく点検とはどのようなものを体験していただきました。

3. 地球温暖化対策に関する政府実行計画について

平成28年5月に新たな政府実行計画が閣議決定され温室効果ガスの総排出量を2013年度を基準として2030年度までに40%削減を目標とし、その措置に関する計画を策定する説明を行いました。



会議状況(石川会場)



点検体験の状況(富山会場)

4. その他情報提供について

法改正等に伴う保全業務に必要な下記の情報提供を行いました。

- ①フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律について
- ②災害発生時における官庁施設の被災情報の共有について

情報ホットライン

■ 公共建築の日及び公共建築月間関連イベント

行政や教育文化、福祉などさまざまな分野にかかわる各種の公共建築は、地域の人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化や生活・文化水準の向上、街並み・景観の形成などを図る上で重要な役割を果たしています。また、近年、地域との連携を図りながら、公共建築の整備や運用のあり方を考えるべきという気運が高まっていたという状況を踏まえ、「公共建築の日」および「公共建築月間」が創設されました。

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所が主催する今年度の公共建築月間・関連イベントは、以下を予定しています。



開催日	実施名称	主催者等	会場等
11/6～11/18	官庁施設の津波対策に関するパネル展 (佐渡海上保安署)	北陸地方整備局	新潟県佐渡市 あいぽーと佐渡ほか
11/24	公共建築賞優秀賞受賞記念講演会 (しいのき迎賓館)	北陸地方整備局 石川県 (一社)公共建築協会	石川県金沢市 石川県政記念 しいのき迎賓館
11/24	公共建築パネル展	北陸地方整備局 金沢営繕事務所	同上
12/3～12/4	公共建築パネル展	北陸地方整備局 金沢営繕事務所	富山県富山市 TOYAMAキラリ
12/14,16	施設見学会	北陸地方整備局 金沢営繕事務所	石川県小松市 小松日の出合同庁舎

※新潟県、富山県、石川県、新潟市においても関連イベントが予定されています。
【(一社)公共建築協会】http://www.pbaweb.jp/public_ivent

公共建築月間イベント
11月1日は公共建築の日
11月は公共建築月間

佐渡海上保安署整備事業に関するパネル展を開催します。

国土交通省北陸地方整備局は、第九管区海上保安本部の協力により、佐渡海上保安署整備事業の必要性や効果等を広く知ってもらうためのパネル展を開催します。国土交通省が実施している公共建築物の耐震対策の取り組みのほか、海上保安庁の災害時の取り組みについても併せて展示する予定です。是非とも会場にご来場ください。

11月6日(日) 9:00～12:15
おんでこドーム 内待機ブース (佐渡市総合防災訓練関連イベント) **入場無料**

11月7日(月)～11月18日(金)
あいぽーと佐渡 1階ホール

おんでこドーム
おんでこドーム
おんでこドーム

■展示会場概要
 立地地 約250㎡
 展示面積 約150㎡ (70㎡×2を各2)
 開催日時 11月7日(月)～11月18日(金)
 会場 国土交通省北陸地方整備局
 設計 株式会社 都市環境設計

国土交通省 北陸地方整備局 第九管区海上保安本部 佐渡海上保安署
 問い合わせ先 国土交通省北陸地方整備局 営繕部 営繕課
 TEL: 020-280-9700

【佐渡海上保安署津波対策パネル展】

佐渡海上保安署(佐渡市津波)の建替事業に着手します。

国土交通省北陸地方整備局では、災害時の拠点施設としての機能を確保するため、今年度から、老朽化した佐渡海上保安署の建替事業に着手します。工事が順調に進めば、夏ごろ30年度に向けて新庁舎での業務が開始される予定です。

◆事業のポイント◆
 ◎ 災害時の拠点施設である佐渡海上保安署の建替の目録化を進めます。
 ◎ 事故が生じた際、住民や観光客等の一時避難場所として堂上を活用できます。

佐渡海上保安署(佐渡市津波)の建替事業の進捗状況
 佐渡海上保安署
 佐渡海上保安署
 佐渡海上保安署
 佐渡海上保安署

佐渡海上保安署(佐渡市津波)の建替事業の進捗状況
 佐渡海上保安署
 佐渡海上保安署
 佐渡海上保安署
 佐渡海上保安署

公共建築月間・公共建築の日シンポジウム

第15回公共建築賞 優秀賞受賞 記念
～おもてなし空間の創出～
石川県政記念
しいのき迎賓館

基調講演 ひと・まち・建築
石川県政記念しいのき迎賓館と石川県庁舎の設計を巡る25年
山下 隆計 豊田 啓典 川口 隆雄 佐藤 誠 高橋 勇

基調対談 15:00～
建築から見た文化財の活用を考える
石川県政記念しいのき迎賓館を中心とした地域創生を巡る25年
山下 隆計 豊田 啓典 川口 隆雄 佐藤 誠 高橋 勇
フリーアナウンサー

日時: 平成28年11月24日(木)
13:00～16:45
(受付12:30～)

場所: 石川県政記念しいのき迎賓館
2階ガーデンルーム

入場無料(要申込)
先着80名
※詳しくは裏表紙をご覧ください

※同時開催★
公共建築月間
公共建築賞優秀賞受賞記念講演会
会場: 石川県政記念しいのき迎賓館
2階イベントホール

主催: 国土交通省北陸地方整備局 営繕部 / 金沢営繕事務所 共催: 石川県 / (一社)公共建築協会 石川県建設協会

【公共建築賞優秀賞受賞記念講演会】

■ 北陸地区営繕主管課長会議

平成28年度（後期）北陸地区営繕主管課長会議は、下記のとおり開催予定です。

日時 平成28年11月8日（火）14時～17時
・ 営繕主管課長会議
・ 営繕積算システム実務者会議
・ 設備分科会

場所 シティホールプラザ
アオーレ長岡 アリーナ2階
長岡市大手通1丁目4番地10
☎0258-39-2500



シティホールプラザ
アオーレ長岡

topics

「アオーレ長岡」が 第15回公共建築賞を受賞

公共建築賞（国土交通大臣表彰）は優れた公共建築を表彰することにより、公共建築の総合的水準の向上に寄与することを目的としたもので、行政施設部門、文化施設部門、生活施設部門から各1作品が選ばれます。今回の受賞作品は以下のとおりです。

【第15回（H28年度）公共建築賞受賞作品】

- ・ 行政施設部門「シティホールアオーレ長岡」
- ・ 文化施設部門「龍谷大学龍谷ミュージアム」
- ・ 生活施設部門「亀山市立関中学校」

（一社）公共建築協会ホームページ

http://www.pbaweb.jp/prize_15

■ 出前講座

北陸地方整備局では、行政の透明性の向上と国民との対話を重視したコミュニケーション型国土行政の推進に向けた種々の取り組みのひとつとして、職員が直接、国土交通省の施策内容や地域の方向性等について話をさせていただくとともに、地域の各種ニーズや生の声を聞かせていただき、行政にも反映させていくために、『出前講座』を実施しています。

『出前講座』の利用方法や講座のメニュー等を下記ホームページに掲載しています。

お気軽にご相談ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/index.html>

■ 官庁営繕の「Q&A」

国土交通省では、これまでに寄せられた相談を踏まえ、主な相談と回答をまとめた「Q&A」、公共建築の品質確保を図るための技術基準及びマニュアルを官庁営繕部ホームページに掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk6_000063.html

■ 施工管理技術検定試験合格証明書の

申請手続きについて

合格証明書の申請手続きについて、北陸地方整備局営繕部ホームページに掲載していますので、ご覧下さい。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

北陸地方整備局営繕部は、新潟県、富山県及び石川県在住の方の下記資格について、再交付・書き換え窓口となっています。

資格名	受付担当課	電話番号
建築施工管理技士		
電気工事施工管理技士	営繕部 計画課	025-280-8880（代表）
管工事施工管理技士		

■発注情報メール配信のサービス内容

北陸地方整備局営繕部及び北陸地方整備局金沢営繕事務所では、営繕工事・業務の最新の調達情報をいち早く入札参加を検討される方々にお届けしていくため「官庁営繕部発注情報メール配信サービス」を試行しています。公告日に登録されたメールアドレスに配信され、**無料**でご利用いただけますので、是非ご登録ください。

1. 対象となる発注機関と工事・業務種別

①発注機関

国土交通省大臣官房官庁営繕部、
北陸地方整備局営繕部、金沢営繕事務所、
北海道開発局営繕部、
各地方整備局営繕部及び営繕事務所、
沖縄総合事務局開発建設部営繕課

②工事種別

建築、電気設備、暖冷房衛生設備、
機械設備（エレベーター）等

③業務種別

設計、工事監理、調査検討、
測量・敷地調査

2. 登録方法

北陸地方整備局営繕部のホームページにアクセスし、表示に従い登録手続を行ってください。

PC、タブレット、スマートフォン、携帯電話いずれの端末からも登録できます。登録は無料です。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>



3. メール配信される発注情報

- ①工事名称または業務名称
- ②工事種別、工事の等級区分、施工場所または業務種別
- ③技術資料（工事）、参加表明書（業務）の提出締切日となります。

なお、正式な内容は入札情報サービスにて、ご確認下さい。
<http://www.i-ppi.jp>


■工事・業務発注見通し及び入札公告に

関する工事概要について

北陸地方整備局営繕部及び北陸地方整備局金沢営繕事務所における工事・業務発注見通し及び工事概要は下記ホームページに掲載しています。

北陸地方整備局営繕部
<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>
北陸地方整備局金沢営繕事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>

えいぜん通信@北陸 平成28年10月発行

編集： **北陸地方整備局営繕部**
ホームページアドレス
北陸地方整備局金沢営繕事務所
ホームページアドレス

TEL025-280-8880(代表)FAX 025-370-6504
<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>
TEL076-263-4585(代表)FAX 076-231-6369
<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>

『えいぜん通信@北陸』は、公共建築に関する取り組みを情報発信しています。北陸地方整備局のホームページで北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所の業務全般及び『えいぜん通信@北陸』を紹介しております。どうぞ、ご覧ください。